

海老名市立東柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第6回)

- 1 **日時** 令和8月2月24日(火) 16:00～
- 2 **場所** 海老名市立東柏ヶ谷小学校 ランチルーム
- 3 **出席委員** 芳賀敬子委員長, 橋本絵美里副委員長, 佐藤充明副委員長,
植木由美子委員, 海野望委員, 柳下泰介委員, 長井徹委員, 小池一美委員,
逢地和孝委員, 増田英樹委員, 青山廣文委員, 守谷美子委員, 工藤真委員,
高橋典嗣委員, 瀬戸口壮委員, 坂本佳菜委員, 奥田五成校長, 町田誠祐教頭

4 会議の内容

(1) はじめに

芳賀委員長：運営協議会が発足してから早10年が経った。冬季オリンピックを見ると選手の活躍ぶりから元気をもらおう。先月は第40回となるグラウンドゴルフ大会が無事に行われた。続いて1年生の昔遊びも実施できた。ひとえに協力してくださった方々のお力があっての行事だった。

(2) 教頭より

町田教頭：本日午前中に体育館改修工事の検査をした。委員の皆様これから体育館を見学していただく。
体育館見学(約15分間)

(3) 第40回グラウンドゴルフ大会(6年)、昔遊び集会(1年)について

町田教頭：スライドに当日の様子を投影しながら振り返る。雪が降る中、進行が心配されたが親子の会話や交流がありすてきな大会となった。反省の中にもあがっていたが、人手不足もあり運営委員の方々に審判をお願いした。今後、児童数の減少や長寿会・ゆめクラブの高齢化に伴いチーム数や試合の在り方を検討していかなければならない。
昔遊びに関しては体育館が使用不可の状況でも、有意義な時間を過ごすことができた。今日は1年生が当日のお礼を手紙に書いたものを回覧していただく。(各グループ1冊ずつ計4冊を回し読みした。以下、委員の皆様から当日の感想をうかがった。)

小池委員：子どもたちと一緒に遊べたということが嬉しい。

長井委員：子どもたちも喜んで楽しそうだった。実施できてよかった。

(4) 学校評価について

町田 教頭：昨年の反省を踏まえ今回は 12 月の教育相談の待ち時間にアンケートにご協力いただいた。想定していた数を下回る回収率だったため、紙媒体で再度アンケートを取った。結果的に昨年を上回る回収率となった。成果や課題は別紙のとおり。集計結果について各グループで意見を交換した。

【協議】

芳賀委員長：他市や他校の児童に注意をしても話を聞かないことが多い。その点本校の児童は顔の見える関係を築くことができているため、見守りやすい。

町田教頭：あいさつ運動においてビブスを着用することで顔の見える関係作りが進んだ。アンケートの質問内容を細分化することで経年変化をより具体的に分析できるという意見があった。

山形総括教諭：「学校の授業がわかりやすい」のポイントが高い。先生たちが頑張っていると委員の皆様から意見があった。授業が楽しそう。その要因として考えられるのが一人一台端末の恩恵である。子ども同士の意見交換や肯定感を高めることにつながっている。一方で筆順やノートに書く活動とのバランスが大切になってくる。

佐々木教諭：「学校運営協議会から依頼があった場合参加する」のポイント低下について検討した。保護者に CS の取り組みが伝わっていないことが考えられる。そこで CS だよりを紙媒体で配布したり、昔遊びを三世代で実施したりするなど、活動の様子を広く伝えていく必要があるのではないか。

(5) 令和 6 年度 学校経営基本方針をふりかえって

町田 教頭：今年度の活動について委員の皆様よりご意見をいただきたい。

【ふりかえり】

芳賀委員長：今年度 PTA の形態が変化した。サポート隊で募集をかけたが思うように人数が集まらなかった。共働き世代が増えた現在、教職員と保護者（PTA 役員）の関係はどうだったか気になる。

町田 教頭：懇談会では担任教諭が司会をしている。放課後の電話連絡や面談等、これまで同様に保護者と連携を図っている。学校行事や学年・クラ

スゴとの依頼は誰が依頼するのか統制がとれていなかった。次年度、要望規模や内容に応じて関係団体に依頼をかけていきたい。

小池委員：あいさつ運動の職員の参加率が低い。下校パトロールにおいても職員の姿が見られない。忙しいとは思いますが、協力してほしい。

町田教頭：下校パトロールに関しては子どもたちの下校指導と見守りを学年で分担して行なっている。クラス数減少の状況を鑑みると全職員をパトロールに参加させるには厳しい。朝のあいさつ運動に関しても同様に、月に一度の機会ではあるものの、職員の働き方を考えると、実施可能な参加の方法を模索していかなければならない。教室で児童を迎える職員も必要である。

海野委員：保護者が授業参観以外で学校に来る機会が減少した。今後 PTA がやらなければいけないことは活動内容が変化していること、活動に興味をもってもらえるような方向性に転換していくことである。役員規模が縮小した今、持続可能な活動を模索している。まずは活動を知ってもらうことが必要である。

(6) 令和8年度について

・学校運営協議会委員の委嘱について

奥田校長：2年間の任期において多方面で支援いただきありがとうございました。

・学校運営協議会の開催日程について(案)

町田教頭：未確定の日程もあるが、現在お知らせできる範囲で次年度の開催日時を資料にて配付。今年度同様、第1回の運営協議会は5時間目の授業参観を兼ねる。

佐々木教諭：今年度との変更点としては、第4回の協議会を9月実施から10月実施にする点である。

・年間行事予定について

町田教頭：第52回の運動会は今年度より1週早い。草刈りの日程調整が不安。校内で日程を検討の上、第2回協議会までにはお知らせしたい。第41回グラウンドゴルフ大会においては、研究委託を受けている都合で開催日時を改めて周知したい。

芳賀委員長：教育委員会に、芝生の問題について報告している。

・あいさつ運動（ビブスデイ）、下校パトロールの日程について

町田 教頭：あいさつ運動と下校パトロールの日程について年間予定とは別紙でお知らせする。

柳下 委員：駅前交番の巡查部長から、あいさつ運動のスケジュールをいただけないか打診があった。時間があれば参加したい意向をもらった。

(7) その他

・PTA 活動について

坂本 委員：基本的に本部5名で活動した。サポート隊の発足に伴いLINEグループを作成した。参加可能な行事に召集を募る連絡形態を取ったが、実際は数名のみの参加となっていた。本部としては業務負担にならないように分担して協力できた。今後の活動を見据えて、希望調査を実施した。他校の資料も踏まえてアンケートを取ると出資だけは協力するという方が多かった。来年度は活動の見える化と内容発信、内容精選を検討する必要がある。手探りの状態で始まった今年度の活動ではあったが、地域の協力もあり充実した活動でした。ありがとうございました。

・親子パトロール隊の取り組みについて

町田 教頭：缶バッチの件について、1200発注予定。（学校：800、4自治体：400）配布文書については今後作成していく。活用方法は今後検討していく。以前缶バッチを配布した際は同意書を提出してもらっていた。タウンニュースの記事にパトロール隊立ち上げ当時の様子が載っている。ご一読お願いします。

柳下 委員：缶バッチの最終デザインについて委員の皆様にご意見を伺いたい。目がついているデザインが賛成多数なのでこの方向で進めていきたい。他市からCSの進め方を参考にしたいと声があった。

・卒業式の案内について

・立哨ボランティア募集について

町田 教頭：委員の皆様方には封筒に案内を入れさせていただきました。当日のご参加よろしくお願ひいたします。立哨ボランティアについてはできるときにできる人がやっけていただく形になる。回覧板で周知のほどお願ひいたします。

・著書の案内について

高橋委員：災害があった場合、自分でどのように対処するとよいのかをまとめた。
3月3日皆既月食のお知らせ。子どもたちに周知してほしい。次回は
2029年1月1日。

(8) おわりに (学校運営協議会副委員長)

佐藤副委員長：2年間どうもありがとうございました。PTAから始まって計6年間携わることができた。CSルームの活用や運営協議会の活動の場を広めていけると、もっと学校活動がさらに発展していくのではない
か。